【添付資料】出演者プロフィール

薬師丸ひろ子



東京都出身。1978 年『野性の証明』で女優デビュー。主演作『セーラー服と機関銃』(81)、『探偵物語』(83)、『W の悲劇』(84)等、多数の作品に主演。主演作の主題歌を歌ったのを機に、歌手としても活動する。
2000 年代に入り、映画出演は「木更津キャッツアイ」シリーズ（03,06）「ALWAYS 三丁目の夕日」シリーズ(05～12)、『今度は愛妻家』(10)など。
TV 出演作は、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」(13)、「エール」(20)、TBS「アンナチュラル」(18)、「最愛」(21)など。近年はコンサートや歌番組出演など、音楽活動も展開中。2021、2023 年と紅白歌合戦に出場。2024 年に 6 年ぶりのニューアルバム「Tree」をリリース。2026 年 11 月 21 日に歌手活動 45 周年を記念して初のオーケストラアルバムを発売する。
公式サイト：https://www.jvcmusic.co.jp/yakushimaru/

武部聡志（音楽監修・ピアノ）



作・編曲家、音楽プロデューサー。
国立音楽大学在学時より、キーボーディスト、アレンジャーとして数多くのアーティストを手掛ける。1983 年より松任谷由実コンサートツアーの音楽監督、吉田拓郎、半﨑美子等の Live 音楽監督を担当。一青窈、今井美樹、平井堅、JUJU 等のプロデュース、CX 系ドラマ『BEACH BOYS』『西遊記』etc の音楽担当、CX 系『MUSIC FAIR』『FNS 歌謡祭』の音楽監督、スタジオジブリ作品『コクリコ坂から』『アーヤと魔女』の音楽担当、最近では、映画『THE FIRST SLAM DUNK』『室井慎次 敗れざる者 / 生き続ける者』の音楽担当、『Yuzuru Hanyu ICE STORY 2023 “GIFT”』の音楽監督等、多岐にわたり活躍している。
『billboard classics Premium Orchestra Concert』シリーズでは、薬師丸ひろ子、川崎鷹也、KREVA、斉藤由貴のプロデュースを手がけた。
公式サイト：https://htmg.com/management/satoshi-takebe/

岩城直也（指揮・編曲）



イマジネーション溢れるオーケストレーションや、色彩豊かな唯一無二のサウンドを創り奏でる作・編曲家、指揮者、鍵盤奏者。Naoya Iwaki Pops Orchestra 代表／ミュージック・ディレクター。
東京音楽大学〈映画・放送音楽コース〉卒業。在学中から玉置浩二のオーケストラ編曲を担当。八神純子、薬師丸ひろ子、小曽根真、KREVA、Lang Lang、Robert Glasper らの編曲を手がける。映画『Prelude』やテーマパーク・CM 音楽の作編曲にも携わる。2019 年、奨学金を得てバークリー音楽大学に留学。
2024 年より NHK〈うたコン〉番組指揮者。布施明、石川さゆり、絢香、Mrs. GREEN APPLE、ももいろクローバーZ、乃木坂 46、FRUITS ZIPPER など、300 組を超えるアーティストと共演。2025 年公開のディズニー映画『ズートピア 2』では日本語声優としてカメオ出演。
一人ひとりの音楽に寄り添い、心躍る景色を聴く人と描いていく。
公式 X（旧 Twitter）アカウント： https://x.com/NaoyaIwaki

©Eiji Miyaji

管弦楽：

札幌交響楽団

「札幌、北海道にオーケストラを」という市民・道民の声を受けて 1961 年に発足し、「札響」の愛称で親しまれ続ける北海道唯一のプロ・オーケストラ。冷涼で雄大な北海道の風土を思わせる透明感あふれるサウンドとパワフルな表現力は全国的にも高い評価を得ており、世界でもアメリカ、英国、ドイツ、イタリアをはじめ、東南アジア、韓国、台湾などでも演奏、各地で好評を博し、北海道・札幌の名を広めてきた。
現在は、首席指揮者 エリアス・グランディ、桂冠指揮者 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎という充実した指揮者陣を中心に、優れた音響で知られる札幌コンサートホール Kitara、オペラやバレエなどにも適した札幌文化芸術劇場 hitaru を本拠に年間約 120 回の演奏活動を行うほか、教育・福祉分野での地域貢献にも力を注ぎ、全道で音楽文化の振興に寄与している。

日本センチュリー交響楽団

街に響く。心に届く。
1989 年に発足、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、久石譲が音楽監督を務め、2026 年 4 月にアルヴォ・ヴォルマーが首席客演指揮者に就任。名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会のほか、豊中市立文化芸術センターでのとよなかシンフォニックシリーズ、教育プログラムや地域連携事業、依頼公演、室内楽コンサート、アンサンブル等を合わせて年間 200 回を超える公演を行う。2024 年 12 月に楽団創立 35 周年を迎えた。
公式サイト： https://jcso.or.jp/

九州交響楽団

1953 年創立。のち財団法人化を経て 2013 年から公益財団法人となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。「九響ビジョン」に掲げる活動理念のもと、アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約 150 回の演奏活動を行っている。2013 年小泉和裕が音楽監督に就任。「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第 9 番」、「マーラー／交響曲第 8 番《千人の交響曲》」「マーラー／交響曲第 3 番」「マーラー／交響曲第 2 番《復活》」の CD をリリース。2024 年に小泉は終身名誉音楽監督となり、首席指揮者に太田弦が就任。またミュージックアドバイザーに篠崎史紀が就任。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。

Naoya Iwaki Pops Orchestra（NIPO）

バークリー音楽大学で研鑽を積み、玉置浩二、小曽根 真、ロバート・グラスパーなど国内外のアーティスト作品や公演に携わり、作・編曲家としてキャリアを重ねる岩城直也が中心となって 2021 年に設立。コンサートマスターは大槻桃斗。1930～50 年代に欧米で流行したポピュラー音楽のアレンジ方法である〈トラディショナル・ポップ〉を手掛かりに、世代を超えて愛される幅広いポップス音楽に煌めきを与え、新しい魅力を引き出す世界随一の音楽集団を目指す。小編成アンサンブルからストリングス、フルオーケストラ編成まで多様なスタイルとアレンジのレパートリーを持つ。これまでに武部聡志、八神純子、佐藤竹善、薬師丸ひろ子、スガシカオ、斉藤由貴、一青窈、クリス・ハート、城田優、川崎鷹也など、数々の日本を代表するアーティストと共演を重ねる。
公式 X（旧 Twitter）アカウント：https://x.com/nipo_music_com

山形交響楽団

1972 年、東北初のプロオーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など年間 150 回に及ぶ公演を実施している。
2007 年から 2015 年まで「アマデウスへの旅」（モーツァルト交響曲全曲演奏会）を開催し、2017 年「モーツァルト交響曲全集」CD を発売。2008 年アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2020 年より「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を、2022 年には「演奏会形式オペラシリーズ」をスタート。常任指揮者 阪哲朗とのオペラ演奏は高い芸術性と個性を育み、その成果は常に注目を集めている。2023 年 12 月より、動画配信サービス「U-NEXT」での映像配信を開始。
常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージックパートナー ラデク・バボラーク、ジュリアン・ラクリン、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親、名誉指揮者 黒岩英臣。
公式サイト：https://yamakyo.or.jp/